

# ふくしまスタディツアー 2022～原子力災害後を共に生きる～

## 募集要項

### 【主催】

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター（未来共生プログラム）

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

### 企画趣旨

東日本大震災から10年が経過し、津波被災地をはじめ原発事故の被災地でも復興に向けて加速化されています。その一方で今も避難を続ける人が約3万人います。一方で避難指示解除11市町村における平均居住率は34%とまだ低く、農業、漁業を中心に風評被害も続いています。原子力災害の被災者は生活再建の見通しが立たず、復興にはまだまだ長い時間を要するといえますが、原子力災害の被災地の状況や避難者についてメディアが取り上げる機会は減り、国民の関心は低下しており、原子力災害そのものの風化が懸念されます。

このような背景を踏まえ、福島第一原発事故の被災地の「今」を知り、多様な被災者の「今」を聴き、原子力災害後を共に生きる私たちは、いかにあるべきか考えることを目的にスタディツアーを実施します。

## 1. 日程

事前学習 ① 10月25日（火）17:00～20:30

② 10月31日（月）18:00～20:00

現地訪問 2022年11月3日（祝）～5日（土）（宿泊場所は福島県いわき市、浪江町予定）

★旅費は大学がすべて負担

事後学習会 11月10日（木）17:00～18:30

報告会（公開） 12月9日（金）18:00～19:30

## 2. 内容

### 【事前学習】

- ① 福島第一原発事故の概要説明、参考図書の紹介、ドキュメンタリー映画「福島は語る」の鑑賞
- ② 福島の復興について（福島県庁の方にお話を伺う@オンライン）

### 【現地訪問】

#### 1日目

- ・東京電力廃炉資料館見学
- ・被災者の「今」を聴く①（富岡町民に町内をご案内いただく）
- ・原子力災害考証館の見学

#### 2日目

- ・被災者の「今」を聴く②（いわき放射能市民測定室たらちね見学）
- ・双葉町の視察と復興について（双葉町役場の方から）

#### 3日目

現在、検討中（浪江町、南相馬市で検討）

### 【事後学習会・報告会】

- ・「ひとと原発～失われたふるさと」鑑賞後、「復興」についてのディスカッション
- ・報告会では、事前学習、現地訪問、事後学習会を通じて学んだことを5分程度のプレゼンをしてもらいます。報告会は公開（オンライン）で行います。

\*内容は変更される場合があります。ご了承ください。

## 3. 募集対象・人数 人間科学研究科院生5人程度、全学部生5人程度

4. 募集期間 2022年9月28日(水)～10月7日(金)

5. 結果通知 2022年10月11日(火)

6. 応募条件

原則、全行程(事前学習、事後学習、報告会を含む)に参加できること。

志望動機(400～800文字程度)を募集期間内に提出すること。

なお、応募にあたって指導教員の許可(署名又は押印)を得てください。

応募多数の場合は選抜し、未来共生プログラム(副専攻を含む)受講者ならびに初回応募者を優先します。

7. 参考資料

過去3年間のツアーに関する報告書です。

[http://respect.hus.osaka-u.ac.jp/RESPECT\\_files/reports/fukushima\\_study\\_tour.pdf](http://respect.hus.osaka-u.ac.jp/RESPECT_files/reports/fukushima_study_tour.pdf)

**【問い合わせ・応募用紙提出先】**

未来共創センター(人間科学研究科 東館105):石塚裕子(y-ishizuka@hus.osaka-u.ac.jp)

応募用紙はメール又は未来共創センターに提出してください。

ふくしまスタディツアー 2022 応募用紙

私は「ふくしまスタディツアー」を申し込みます。

氏名 (学年・所属)	
連絡先	メールアドレスと携帯電話番号
志望動機	
指導教員による承認 (署名又は押印)	上記の所属学生が「ふくしまスタディツアー 2022」に参加することを許可します。  <hr/> <p style="text-align: right;">印</p>